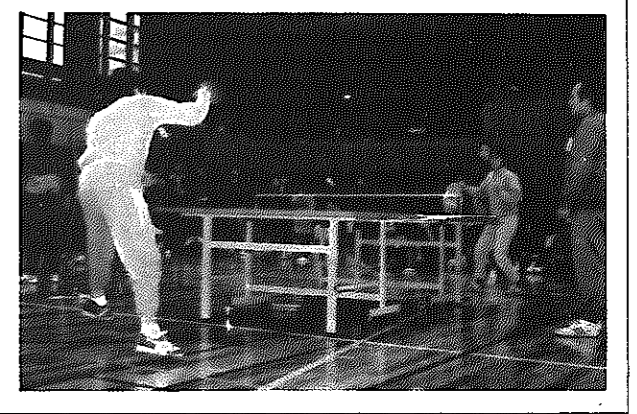


題 話 の

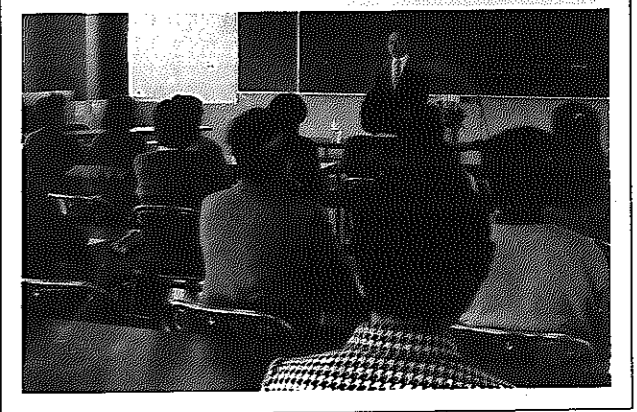
入る部落対抗戦 卓球大会

小林地区卓球大会が二月十七日、カルチャーセンターで行われました。十四回目を迎えたこの大会、小学生、一般、シニア(四十歳以上)の各クラスに別れた部落対抗ダブルス戦に約五百人が参加しました。参加者は、部落の集会場などで練習を重ねてきたとあって、なかなかの腕前。親子ペア、夫婦ペアなど息の合ったところを見せます。「お母さん頑張つて」「よし、いいぞ」など、部落対抗ならではの熱の入った応援も。大会関係者は「駐車場の心配もなく、会場も広いので、余裕の運営ができます」と話していました。



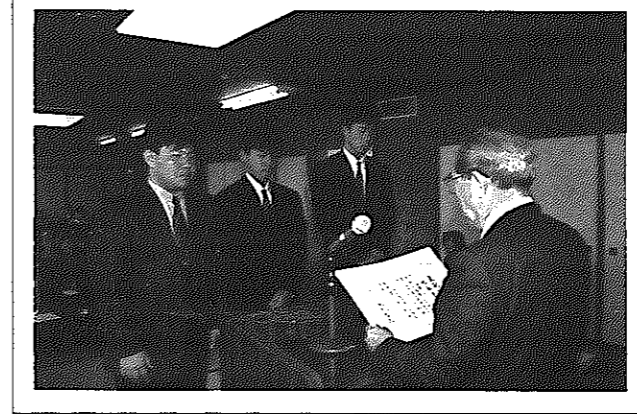
お父さんも聞いてね 家庭学習会

保育園児を持つお母さんを対象にした家庭学習会。三月三日、白井地区と大郷地区の合同学習会が大郷地域生活センターで開かれました。この日は酒造会社社に勤める平田大六さん(関川村)の「酒造りを通じての子育て」と題した講演。ユーモアたっぷりに、兄弟関係や、親子のきずなを深めるエピソードを披露しました。「ご夫婦で積極的に子育てにかかわり合ったお話しに、驚き、うらやましいと思いました。家のお父さんも、もう少し積極的だったらなあ」と参加したお母さん。お父さんからも聞いてはしなかった講演でした。



スポーツで健全育成 青少年健全育成市民会議

青少年健全育成市民会議が、二月二十八日青年教育センターを会場に開かれ、善行青少年の表彰、記念講演などが行われました。席上、「小林子ども剣士会」を熱心に指導した功績で、佐藤達也さん(和泉)、阿部敏行さん(上木山)、武田一郎さん(蔵主)の三人が善行青少年表彰を受けました。講演は、登校拒否児を対象とした塾を開設し、健全育成指導に活躍している黒岩秋子さん。塾に集まる子供たちや、四男三女の母としての子育てを例に、「子供に教えられることもある、互いに育て合おう」と話していました。



それがチューリップ? 白根花の品評会

三月二日、三日、白根市農協ドリームホールでチューリップなどの花の品評会が行われました。市内で栽培されているチューリップの切り花は約二百品種。そのうち約八十品種が展示され、会場は一足早い春の香りがいっぱい。珍しい花の数々に「これがチューリップ?」という驚きの声も上がります。これだけ多くの品種が一堂に集められることはめったにないと、生産者も興味深げ。三日午後からは展示した花を即売しました。珍しい花が市価の半値以下で買えるとあって、人気は上々。益金は交通遊児基金に寄付されます。



ま ち

交通安全の先頭に 地域交通安全活動推進委員

増え続ける交通事故など、年々厳しくなる交通情勢。地域ぐるみで交通安全に取り組もうと、道路交通法の一部改正され、地域交通安全活動推進委員制度がスタートしました。これにより、これまでボランティアとして交通安全に協力していた人たちに、法的な位置付けができました。白根警察署でも二月十四日、五人の委員に委嘱状が手渡されました。本市関係の委員は松崎福治さん(古川)、宮本三三さん(道湯)、田村七男さん(中笠巻)の三人。皆さんからは交通モラル向上のためのリーダーとして活躍していただきます。



文芸しろね 文芸の向上を目指そう 座談会

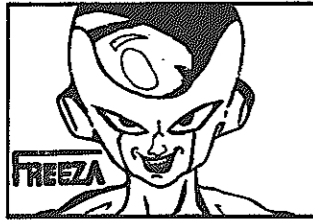
文芸しろね第十号の発刊を記念し、創刊号からの連続投稿者と編集委員との座談会が二月二十日、中央公民館で行われました。十冊たった文芸しろねはかなりの厚み。年々投稿者の数も増えています。出席者からは「希望者全員が参加できるような座談会を」「若い人の投稿が少ない」「校正に念をいれてほしい」「選をして質の向上を目指してほしい」といった意見が出されるなど、文芸しろねのレベルアップを目指す意気込みでいっぱい。出された意見は編集委員会で検討、今後に生かされます。



いんぷろ くらぶ CLUB

★イラストは、はがきに黒一色ではっきりと。薄い鉛筆書きはボツにします ◆ペンネーム希望の人も住所、氏名、年齢は忘れずに ♥締め切りは毎月15日です。それ以降に届いたものは翌月に回します ◆あて先は 〒950-12 白根市大字白根 白根市役所 広報イラスト係へ ◆採用分には粗品を差し上げます

広報しろねイラスト展を4月7日(日)までライオンロードで開催。ぜひお出かけください。



▲土田正樹さん (東笠巻・14歳)



▲竹内 望さん (和泉・10歳)



▲ペンネーム 菱田野秋穂さん(赤浜)



▲ペンネーム 大谷素朴さん(大邊南)



▲ペンネーム ヒサロクUN(赤浜)



▲ペンネーム さきがわ☆かまさん (山崎野・15歳)



▲高橋研平くん(三の町・5歳)



▲相田美奈子さん(北田甲・13歳)